

# あらいざわ通信

## 平成 30 年度定期総会と 開園 20 周年記念祝賀会



5月19日午前10時30分から、今年度の定期総会を倉庫に会場を設けて開催しました。ご出席くださった来賓の方々には区役所から区長と職員の皆さんと栄土木事務所の所長ほか、南部公園緑地事務所からも所長ほか、さらに桂台と公田両小学校から校長先生ほかです。

愛護会の石川会長と、来賓代表として小山内区長からご挨拶をいただいたあと、坂本役員が議長、宮崎役員の書記により議事に移りました。佐藤役員からの活動報告で前年度の活動の特記事項として挙げられたのは、哺乳類調査、スゲの湿地と水田脇の木道取替え、保安林地区の杉の間伐後の下草萌芽状況調査など、いずれも横浜市による活動のみ。愛護会の活動が縮小している印象を受けましたが、特に大きな自然災害がなかったことなど、比較的平穏な一年であったためとも思われました。

会員数は減少したが1回あたりの作業参加者数が増えていること、その他恒例の小学校の田植え稲刈り、研修旅行研修として植物観察会が行われたことなどが報告されました。以降、

第92号 2018年8月7日  
発行： 荒井沢市民の森愛護会  
上荒井沢水辺愛護会  
横浜市栄区田谷町 888  
発行責任者： 石川 嘉一郎

粛々と議事は進められ、すべての議案が承認されて予定の11時30分閉会、引き続き、正午から極楽広場で開催される「荒井沢市民の森開園20周年記念祝賀会」の準備に移りました。

### 開園 20 周年記念祝賀会

総会が終わると早速、招待客受入れのための受付を開設。すると、早い方がそろそろおいでになり田んぼをはじめ、あたりの緑の風景を眺めていらっしやいます。「懐かしい田舎に来



たようだ」との感想も聞かれます。降るか降らないかの空模様だった午前中とは打って変わって、初夏の空が晴れ渡りまぶしいほど。お客様が続々と集まってきて、極楽広場が賑やかになってきました。その数40名。それに会員が加わって、人を探すのに苦労するほどです。お集まりくださった方々を所属別に見ますと、

役所関係  
グリーンサポーター  
環境保護団体  
環境保護業者  
地域自治会町内会  
近隣協力者

などになります。かつてお世話になった懐かしいお顔も見えます。これらの皆さんにと

っても懐かしい場所なんだなと感じます。随分きれいになったね、とお褒めの言葉も数多くいただきました。

嬉しかったのは、会のメンバーで、開園当時、会の指導者として整備作業の先頭に立って活躍された岩見さんが、高齢と不自由なお体を押して駆けつけて下さったことです。お客様が帰られたあとの広場で、残っていたメンバーで記念写真を撮りました。

さあ、次は30周年に向かって、会員数の減少をどう克服するか、知恵を働かせて頑張らしましょう。

## 今後の活動予定

(30年8月~11月)

8月4日(土)当番：佐藤

各広場・散策路の清掃パトロール  
下草刈り(水辺)  
カヤ刈り(カヤの湿地)午後

8月11日(土)当番：茨木

各広場・散策路の清掃パトロール  
草刈り(スゲの湿地・階段)  
炭出し・炭材詰め

8月18日(土)当番：本間

各広場・散策路の清掃パトロール  
草取り(会員用水田)  
草刈り(スゲの湿地・散策路)

8月25日(土)当番：草本

各広場・散策路の清掃パトロール  
草刈り(当日対応)  
草取り(公田小水田)

9月1日(土)当番：坂本

各広場・散策路の清掃パトロール  
草取り(極楽広場~蛙池散策路)

9月8日(土)当番：佐藤

各広場・散策路の清掃パトロール  
笹刈り(水路北側斜面)

9月15日(土)当番：茨木

各広場・散策路の清掃パトロール  
笹刈り(水路北側斜面)

9月22日(土)当番：本間

各広場・散策路の清掃パトロール  
草刈り(水田畦と周辺)  
稲架け組立て(午後)

10月6日(土)当番：草本

各広場・散策路の清掃パトロール  
草刈り(当日対応)  
畦渡り木の点検・取替え(午後)  
稲刈り準備

稲刈り10月9日(火)~12日(金)

10月13日(土)当番：坂本

各広場・散策路の清掃パトロール  
笹刈り(極楽広場周辺)

10月20日(土)当番：佐藤

各広場・散策路の清掃パトロール  
草刈り(当日対応)  
炭焼きと炭材詰め

10月27日(土)当番：茨木

各広場・散策路の清掃パトロール  
脱穀作業

11月3日(土)当番：本間

各広場・散策路の清掃パトロール  
草刈り(当日対応)  
下草刈り(水路南側斜面・午後)

11月10日(土)当番：草本

各広場・散策路の清掃パトロール  
下草刈り(展望台)  
下草刈り(水路南側斜面・午後)

11月17日(土)当番：坂本

各広場・散策路の清掃パトロール  
下草刈り(水辺上流)  
下草刈り(水路南側斜面・午後)

11月24日(土)当番：佐藤

各広場・散策路の清掃パトロール  
下草刈り(水辺下流)  
下草刈り(水路南側斜面・午後)

## 定例作業と公式行事の活動記録

(30年4月~7月)

4月7日(土)参加者18名

各広場と散策路の清掃パトロール  
防鳥ネット張り(苗床)  
畑・里芋の植付け

4月14日(土)参加者17名

各広場と散策路の清掃パトロール  
三日月池・斜面の整備  
畑・じゃが芋の植付け

4月21日(土)参加者16名

各広場と散策路の清掃パトロール  
水田畦塗り(桂台小分)  
草刈り(畦道)

4月28日(土)参加者19名

各広場と散策路の清掃パトロール  
草刈り(スゲの湿地階段まで)  
畦塗り(公田小分)  
長靴の整理整頓

5月5日(土)参加者18名

各広場と散策路の清掃パトロール  
草刈り(炭焼き広場)  
土砂運び(蛙池・午後)

5月12日(土)参加者18名

各広場と散策路の清掃パトロール  
水田代掻き(桂台小・公田小分)  
畑・南瓜植付け

5月18日(金)参加者9名

総会準備作業

5月19日(土)参加者20名

定期総会(10時30分~11時30分)  
開園20周年祝賀会(12時から)

5月26日(土)参加者15名

各広場と散策路の清掃パトロール  
水田・田起こしと代掻き(会員用)

6月2日(土)参加者16名

各広場と散策路の清掃パトロール  
防鳥ネット取り外し・片づけ  
苗取り(公田小分)

6月4日(月)参加者18名

田植え(公田小) 児童38、先生3、保護者4、区職員4名

6月8日(金)参加者14名

田植え(桂台小・信光社) 児童59、先生4、保護者7、区職員2名 信光社4名

6月9日(土)参加者15名

各広場と散策路の清掃パトロール  
田植え(苗床)  
足袋等の片づけ・整理

6月16日(土)参加者14名

各広場と散策路の清掃パトロール  
草刈り(三日月広場)  
畑・玉葱収穫

6月23日(土)参加者16名

各広場と散策路の清掃パトロール  
草刈り(炭焼き広場)

6月28日(木)参加者3名 炭焼き

6月30日(土)参加者13名

植物観察会

7月7日(土)参加者14名

各広場と散策路の清掃パトロール  
水辺下草刈り・片づけ  
枝払い・整理(ホオノキ地区・午後)

7月14日(土)参加者14名

各広場と散策路の清掃パトロール  
水辺下草刈り・片づけ  
草刈り(蛙池~階段)

7月21日(土)

猛暑続きのため、作業休み

7月28日(土)参加者7名

台風12号接近中

各広場と散策路の清掃パトロール  
田の草取り(桂台小分水田)  
枝払い(水田脇散策路)  
カヤの刈り込み・片づけ(蛙池)

## 植物観察会で得たものを 作業に生かそう



6月30日、植物観察会を催しました。講師は前回に引き続き北川淑子先生。朝礼の前に、倉庫裏の斜面にオカトラノオの群生を発見したことを報告し、横浜市みどりアップ職員ともども現場を見ながら、この場所の草（笹）刈りの時期と方法などを教えていただきました。朝礼では挨拶の後、イヤフォンの扱い方等の説明を受け現地に繰り出し、観察と説明を受けましたが、以下、要点のみの報告になります。

### 1. 蛙池周辺



もうすぐ花を咲かせるのがハンゲショウ（約1か月後に咲いた花を見ると、意外に数が多いのに驚きました）。これからの楽しみはミゾハギ、トリカブトなど。

### 2. 水田周辺

上を見るとネムノキが咲いています。赤い部分は雄しべだと教えていただきました。畦に生えるスギナには希少植物があると聞き、それでは草刈りが出来ないと男性のメンバーから声。ここの水路沿いにはアカショウマが咲きます。

### 3. ツララの崖と土手

絶滅危惧種のツルデンダを確認。ツルギキョウは元気に育っています。ホタルブクロも健在。その辺りにカントウカンアオイなど。

### 4. スゲの湿地

ここを代表するのはツリフネソウで、その花を見に来られる人もいるほどですが、シラスゲの勢いに押されて、近年数を減らしています。秋の終わりのスゲ刈りの時、ツリフネソウを保護するため、場所を決めて、そこはスゲを根から取るようにしたらどうかと先生の助言でした。

### 5. ニリンソウの湿地

主役のニリンソウは元気です。その手前にひっそりと育っている、絶滅危惧種のカテンソウも元気に株を増やしていますが、その傍に数を増やしているヤブミョウガに押され気味です。カテンソウとヤブミョウガは同じような根の張り方をするので、この辺りのヤブミョウガは抜き取ったほうがいいと先生の助言。その後のパトロールの際に、早速実行しました。

### 6. ホオノキ地区

ここはヤマユリの群生地ですが、樹木の枝が伸びて日照が悪くなったうえに草も伸びてヤマユリは大幅に減っています。この失望を取り返すべく、早速枝払いを行い近く草刈りを実施することにしています。大きな樹木の間伐も横浜市にお願いしました

### 7. 展望台

日照改善のために樹木1本を伐採しましたが、改善には至らず、さらにこれを継続する必要があります。展望台の先端、樹木のない所のヤマユリ、オカトラノオ、ホタルブクロなどは大きな花を咲かせました。

今回の観察会はここで終了。炭焼き広場側も先生に見て欲しかったので、次の機会に譲ります

## 5年生の田植え

6月4日に公田小の児童38名、雨で順延の6月8日に桂台小の児童59名が田植えを行いました。

毎年、桂台小と公田小の5年生が、田植えと稲刈りに荒井沢にやって来ました。私は、5年生には特別の想いがあります。私の5年生の年は、子供にも辛かった戦争が終わった年です。戦争が終わって、何だか世の中が明るくなったように思いました。

それでも、食料不足は相変わらずで、いつも腹を空かせていました。栄養十分の今の5年生と比べれば、あの頃の5年生は、ずっと体が小さかったのではないのでしょうか。

田植えと稲刈りの季節が来ると、学校は休みになります。5日間くらい授業を休んで、その間、農家の子は自宅の手伝い、農家以外の子



は知り合いの農家に手伝いに行きます。若い男はほとんど戦争に狩り出されているので、村に残っているのは、じいちゃん、ばあちゃん、母ちゃんと子供たちですから、子供の労働力も当てにされていたのです。

子供の仕事は、苗を苗代から田んぼへ、リアカーに積んで運び、田んぼに苗を投げ入れることです。午前中に何往復かすると、待望の昼飯です。田んぼ道にごさを敷いて、まぶしいように白く光る大きなおにぎりを、おかずのニシンの煮つけと沢庵などと食べるのです。その旨かったこと。

午後も何往復かして、当日分の苗取りがすむと、全員が田んぼに集まって苗を植えます。子供も田んぼに入って、大人の手ほどきを受けながら植えます。



こうして、数日間で田植えが終わると「さなぶり(早苗饗)」です。いったん家に帰り、風呂に入って汗を流すと、その農家から迎えが来ます。ご馳走が並び、大人たちは酒を飲み、やがて歌も出ます。

あの頃は、子供もよく働かされました。授業を犠牲にしての勤労奉仕です。春、田起こし前の田んぼでタニシ獲り、田植えがすむと、じゃが芋の葉につく害虫のテントウムシダマシ獲り、夏から秋にかけてはイナゴ獲り、冬は火の気のない寒い納屋や土間に座って縄をないます。これは学校の宿題で、学校に集めて軍に供出されます。仕事をサボって遊んでいるのを教師に見つかり、体ごと吹っ飛ばすほど殴られました。今の5年生を見ていると、平和の有難味をしみじみ感じます。

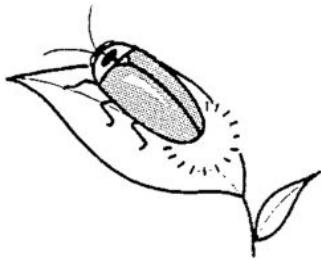
8月の声を聞くと、稲刈りの季節はもうすぐです。田植えの時より一回り大きくなった5年生がやって来ます。(愛護会・本間記)



## 今年のホタル

### 異常気象がもたらした？大量発生

会員が高齢になって、まして足元の悪い夜の市民の森に出かけるのは気が重いという昨今、今では珍しくなくなったホタルを見に行く



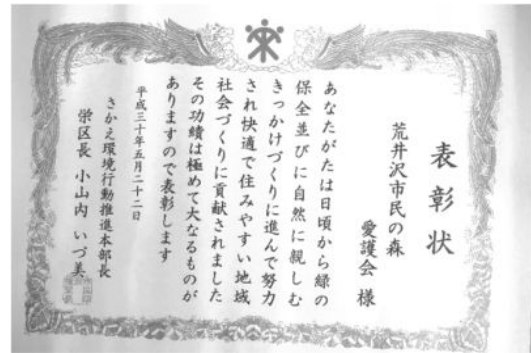
人もなくなって、ドクダミの花が咲いたから、きっとホタルが飛んでいるだろうと話題になっていたところ、元気者の桑

原さんが見に行ってくれました。

その報告によると、5月28日、午後7時30分、スゲの湿地に10頭、ヨシの湿地に約30頭を数えたとのこと。水田の周りにはいなかったとも。6月13日に再び見に行くと、それまで見たことのない光が群れていたそうです。その数、まさに無数。ハイケボタルではないかと思ったそうです。他所の市民の森でも同様の現象があったと、聞きました。恐らく大量発生したと思われます。異常気象がもたらしたのでしょうか。

## 栄区長より表彰を受けました

当愛護会の、長年の活動に対し、栄区長から表彰を受けました。副賞の図書カード（2000円）で、野鳥大図鑑を購入しました。付録に野鳥の鳴き声のCDがついています。ご活用ください。利用希望の方は本間まで。



会員数の減少が深刻になってきています。人は愛護会の財産です。人は年々齢をとります。人は身体と心でできています。互いに仲間の健康と気持ちを思いやり、仲良く、元気で、楽しく作業を続けられるよう、ご協力をお願いします。（本間）

## 荒井沢市民の森開園 20 周年を迎えて

「市民の森をつくるので手伝ってよ」と声をかけてもらい、興味津々で参加しました。

区役所の会議室に行くと、農政事務所、区役所、地主の方、町内会長、グリーンキーパーの方等、私には場違いかなと思いながら、週に1度の会議に参加しました。

1998年5月の開園式当日、150の方が集まり、市民の森がスタートしました。毎週土曜日に集まれる人で仕事をし、道具は大鎌と鎌を買い、草刈りから始めました。休憩所のテーブルや椅子、ベンチ作りには拾って来た板や釘を叩いて使いました。野草を愛し、興味のある人は保護活動を始め、出来る仕事を無理せずに行うことをモットーに、楽しく仕事が出来、仲間づくりが出来れば良いと思っていました。

極楽広場にある柿の木は、開園記念の木で、こぶしの木は10周年記念の木です。18年前に高さ1mの棒みたいな木を、荒れた杉林を整地して植えたのがホオノキで、今では香りの良い白い花が咲き、葉はお皿代わりに使用しています。

今年の20周年記念の日には、大勢の方にお祝いしていただきました。市民の森に尽力なさった野村政晴前会長も長沼忠治元副会長も天国で喜んでくださっているでしょう。（草本和子）